



今から100年前(1917年7月)、イギリスの北部にあるコティングリー村で、二人の少女が妖精の姿をカメラでとらえました。これらの写真は、シャーロック・ホームズの作者アーサー・コナン・ドイルと神智学協会のエドワード・L・ガードナーによって有名となり、世界中で論争を巻き起こしたのです。

本展では、当時ガードナーが実際に所有していたカバンの中の資料を中心に、この妖精事件の背景を改めて考察します。初公開の資料もございます。ぜひ、ご来場ください。



特別企画展

コティングリー妖精事件 と 神智学者ガードナー

名古屋

2018年1月5日(金)~18日(木)

開催時間:5日(金)10時~17時 / 6日(土)10時30分~12時30分 / 9日(火)~11日(木)10時~17時 / 15日(月)13時~17時 / 16日(火)~18日(木)10時~17時 7日(日)8日(月)12日(金)~14日(日)のお休みをのぞく9日間開催
予約不要、入場無料

名古屋大学教養教育院 プロジェクトギャラリー「clas」

名古屋市中千種区不老町

地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車・1番出口より西へ5分、全学教育棟南入口横



■ギャラリートーク

1月6日(土) 11時~11時40分

担当:浜野志保(千葉工業大学、視覚文化史)

展示資料について時代背景を中心に解説します。

※予約不要、入場無料

※当日は10時30分~12時30分のみ開場

東京

2018年2月9日(金)~25日(日)

開催時間:10時~20時 (最終日は18時まで) 13日(火)、19日(月)をのぞく15日間開催
予約不要、入場無料

第10回恵比寿映像祭「インヴィジブル」内にて展示

東京都写真美術館

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分 / 東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分

大阪

2018年4月以降開催予定

企画:コティングリー妖精事件100周年実行委員会

監修:井村君江

協力:フェアリー協会 / 妖精妖怪アートサロン「イルミタイ」



1917年、イングランド北部のコティングリー村に住んでいたエルシー・ライト(当時16歳)と、その従妹フランシス・グリフィス(当時9歳)は、エルシーの父親から借りたカメラを携え、家の近くを流れるベック(小川)に出かけた。少女が撮影した2枚の写真を現像してみると、そこにはエルシーの前で踊る妖精たちと、フランシスの膝に飛び乗ろうとするノームの姿が写し出されていた。

1920年、妖精写真の存在を知った神智学者エドワード・L・ガードナー(1869-1969)は、少女たちに新しいカメラを与えた。少女たちはガードナーの期待に応え、さらに3枚の妖精写真を撮影してみせた。

「コティングリー妖精写真」として知られるこれらの写真は、撮影者である少女たち自身の告白により、すでに偽造されたものであることが判明している。それでも、少女と妖精の共存する不思議なイメージは、今なお私たちの心をとらえてやまない。

2002年、妖精写真の資料を含むガードナーの遺品が、英国のオークション(ボナム社)で落札された。落札者は、妖精研究の第一人者、井村君江氏である。本展覧会では、5枚の妖精写真(複製)、関係者のスナップ写真、妖精写真との比較のために収集された心霊写真、コティングリー以外の場所で撮影された妖精写真の調査資料など、ガードナーの遺品に含まれていた未公開の新資料を紹介し、約100年前に撮影された幻想的な写真に新たな光を当てたい。

■名古屋会場:2018年1月5日(金)~18日(木)

※開催時間は表面参照

名古屋大学教養教育院 プロジェクトギャラリー「clas」

<http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/clas/>

名古屋市中千種区不老町



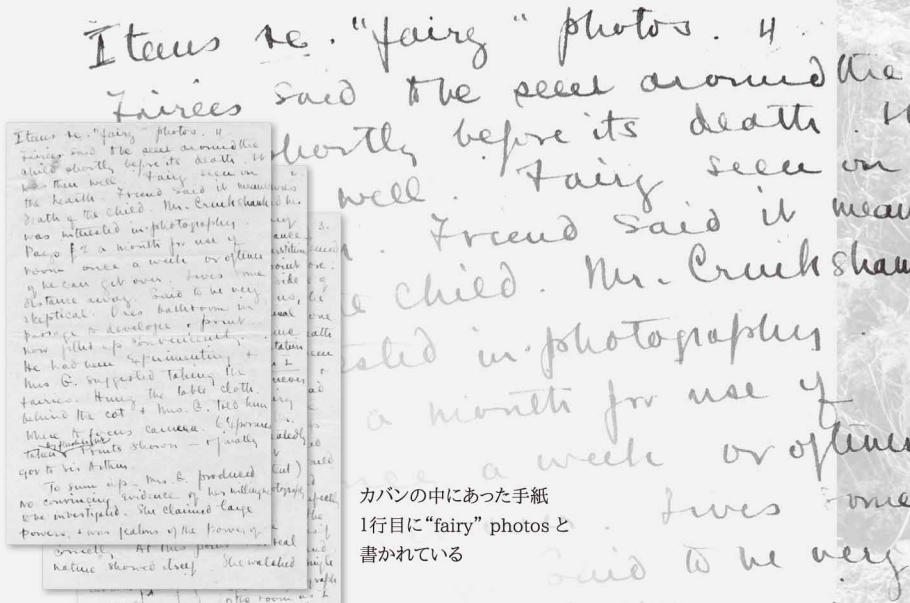
■東京会場:2018年2月9日(金)~25日(日) 東京都写真美術館へのアクセスは <http://topmuseum.jp/> をご覧ください



フランシスと妖精(コティングリー村にて)



カバンの中の写真



カバンの中にあつた手紙
1行目に“fairy” photosと
書かれている

エルシーとフランシス
関係者たちのスナップや
当時の心霊写真も展示

